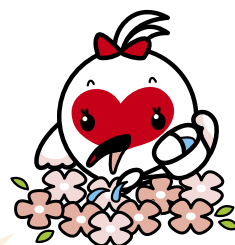


10 新潟の花づくりは どうなっているの？



新潟ではどんな花がどこで栽培されているのだろう

新潟県の花の生産額は、1975年(昭和50年)ころから急にのびて、平成22年現在花全体の生産額は全国第12位です。とくに、花の種類別に見ると、県の花であるチューリップやユリの切り花、球根類が全国上位のほか、アザレア、シャクナゲ、サツキなどの花木類(鉢もの)の生産も全国上位の出荷量となっています。

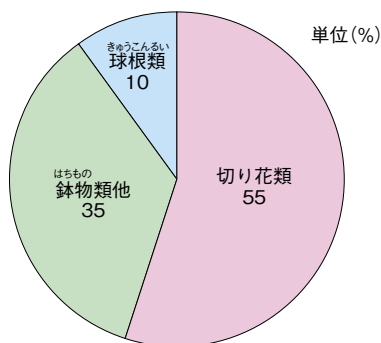
また、最近はガーデニングブームで花を楽しむ

人が増えてきましたが、オランダからの輸入球根が増えたために球根の生産は減ってきています。

信濃川と阿賀野川の流域は、全国でも有数の産地です。球根はおもに新潟市や胎内市周辺の砂丘地や五泉市と村上市などで、切り花は魚沼市や新潟市周辺と津南町などで、花木類は新潟市などで多く生産されています。

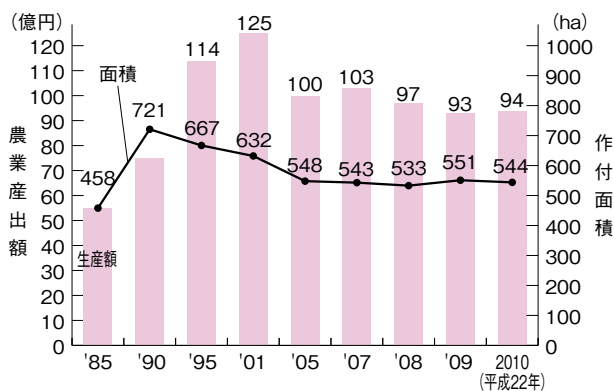
●花類の販売額のわりあい

(2010年、平成22年)



▲品質のよい球根を生産するためのチューリップ花つみ作業

●花類の農業産出額と面積の移りかわり



▲ハウスでのユリ栽培

〈新潟のおもな花〉

(2010年、平成22年)

区分	出荷量または生産額(県)	出荷量または生産額(全国)	全国に占める割合	全国順位	その他のおもな品目	代表産地	
切り花	ユリ	33億円	231億円	14.3%	キク・バラ・カーネーション・アイリス・ストック・トルコギキョウなど	魚沼市 胎内市 新潟市 津南町	
	チューリップ	11億円	21億円	52.4%			1
球根類	チューリップ ユリなど	2,860万球	14,950万球	19.1%	2	アイリス・クロッカス・スイセンなど	新潟市 胎内市 五泉市 村上市
花木	花木類 (鉢もの)	1,050万鉢	4,930万鉢	21.3%	2	サツキ・アザレア・シャクナゲ・ボケ・ツツジ	新潟市 五泉市

◎チューリップの球根は、大正時代のはじめ、新潟市秋葉区で全国で最初に栽培されたといわれています。

◎チューリップ切り花は全国の生産額の約5割が新潟県で生産されています。

〈花づくりのしごとのようす〉

月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
栽培のしごと		球根を冷ぞう庫に入れる		ビニールハウスへ植えつけ	(だんぼう)	収かく 箱づめ 出荷

花づくりはどのように行われているのかな。チューリップの切り花を栽培している農家をたずねました。



花づくり農家のおねえさんの話

チューリップの切り花の多くは、ビニールハウスの中で栽培されています。このため温度や水の管理など細かな注意が必要です。

でも自分でつくった花がみなさんによこんでもらえると、くろうもふきとんでしまいます。

花づくりは夢があってほんとうに楽しいしごとですよ。

▶ハウスでの収かく



◀▲箱づめされ、市場でせりにかけられる